

# 大竹伸朗 ビル景 1978-2019



## 【展覧会概要】

展覧会名：大竹伸朗 ビル景 1978-2019

欧文表記：Shinro Ohtake: BLDG. 1978-2019

会 期：2019年7月13日（土）～10月6日（日）

開館時間：9:30～18:00（入場は17:30まで）

会 場：水戸芸術館現代美術ギャラリー

休 館 日：月曜日 ※ただし7月15日、8月12日、9月16日、9月23日（月・祝／振）は開館、  
7月16日、8月13日、9月17日、9月24日（火）は休館

入 場 料：一般900円、前売・団体（20名以上）700円

高校生以下・70歳以上・障害者手帳をお持ちの方と付き添いの方1名は無料

※学生証、年齢のわかる身分証明書が必要です

※一年間有効フリーパス → 「年間パス」2,000円

学生とシニアのための特別割引デー「First Friday」

→ 学生証をお持ちの方と65歳～69歳の方は、毎月第一金曜日

（8月2日、9月6日、10月4日）100円

主 催：公益財団法人水戸市芸術振興財団、読売新聞社、美術館連絡協議会

協 賛：ライオン、大日本印刷、損保ジャパン日本興亜、日本テレビ放送網

協 力：サントリーホールディングス株式会社、Take Ninagawa、HeHe

企 画：井関悠（水戸芸術館現代美術センター学芸員）

大竹伸朗(1955-)は、1980年代初めにデビュー以降、絵画を中心に、印刷、音、写真や映像などの多彩な表現を展開し、その活動は、現代美術の世界だけでなく、文字やデザインなど、幅広いジャンルに影響を与えてきました。

本展では、1970年代から現在までの約40年間にわたり、大竹が「ビル景」という絵画シリーズを描き続けていることに注目します。

「ビル景」とは、現在の風景をそのまま描いたものではありません。大竹の中に記憶された、香港、ロンドン、東京といった様々な都市の、湿度や熱、騒音、匂い。それらがランダムにミックスされ、「ビル」という形を伴って描き出される仮想の風景です。

今回、多数の未発表作品から最新作まで800点以上を調査し、ビルシリーズ全作品集の発行とあわせて、可能な限り展示することで、「ビル景」シリーズの全貌を明らかにします。

デジタル技術全盛の現代において、一人のアーティストが数十年にわたり、自らの手で絵を描き、作り続けることの意味とは何か。本展を通じて感じてください。

### 【大竹伸朗 略歴】

1955年、東京生まれ。1980年代初頭より国内外で作品発表を開始。2006年初回顧展「大竹伸朗 全景 1955-2006」(東京都現代美術館)以降、東京、香川、ソウル、ロンドン、シンガポール等で個展。光州ビエンナーレ(韓国)、ドクメンタ(13)(ドイツ)、ヴェネチア・ビエンナーレ(イタリア)、横浜トリエンナーレ、瀬戸内国際芸術祭はじめ国内外の国際展に参加。主なパブリックワークとして「シップヤード・ワークスシリーズ」「はいしゃく舌上夢／ボッココン覗」「直島銭湯 I♥湯」(直島,香川)、「女根／めこん」(女木島,香川)、「針工場」(豊島,直島)、「北の空に浮かぶカタチ」札幌市生涯学習センター、「種景」(伊方町)。エッセイ集『見えない音、聞こえない絵』『ビ』(共に新潮社)、絵本『ジャリおじさん』(福音館書店)等。最新作は2018年11月刊行『ナニカトナニカ』(新潮社)。エッセイ「見えない音、聴こえない絵」は月刊文芸誌『新潮』に現在も連載中。

公式ホームページ：<https://www.ohtakeshinro.com/>



©Shinro Ohtake, Photo by Shoko

## 【本展のポイント】

・関東では2006年に東京都現代美術館で開催された「全景 1955-2006」以来、13年振りとなる美術館での個展となります。大竹伸朗の作品が当館のギャラリー空間を圧倒的な作品数とスケールで埋め尽くします。

・大竹が1978年から現在まで40余年にわたって制作を続ける「ビル景」シリーズ800点以上の作品より500点余りを一堂に展示します。また熊本市現代美術館を経て、当館での開催では大型の立体作品など新作数点が加わるなど、展示構成、出品作品が大きく変化します。

・大竹デザイン「ビル景」展ロゴや描き下ろしドローイング、フォトコラージュをプリントした特製Tシャツや、亜鉛凸版による本展ポスターのスペシャルエディションを制作。本年4月に刊行された画集『大竹伸朗 ビル景 1978-2019』（HeHe刊）とあわせ、当館ショップにて販売します。

## 【関連プログラム】

### ■ 大竹伸朗 アーティスト・トーク

作家自身が「ビル景」や、近年の活動について語ります。

日時：7月13日（土） 13:30～15:00（開場13:00）  
※ただし、トークの終了時間は前後する場合がございます。  
会場：みと文化交流プラザ 大会議室（6F）  
定員：200名（先着順・予約不要）  
料金：無料  
住所：水戸市五軒町1-2-12（水戸芸術館より徒歩1分）

#### 【サイン会】

日時：上記トーク終了後、30分程度を予定  
会場：水戸芸術館 エントランスホール  
※サインは、画集「大竹伸朗 ビル景 1978-2019」または大竹氏が出版する書籍のみに限らせていただきます。ただし、お1人様1冊限り。（色紙・展覧会チラシなどへのサインはお断りします。）  
※一部の書籍と画集「大竹伸朗 ビル景 1978-2019」は、当館ミュージアムショップ・コントロールポアンでご購入いただけます。

### ■ キュレータートーク

本展担当学芸員が展覧会を解説付きでご案内します。

日時：7月27日（土）、8月24日（土） 各日14:00～15:00  
会場：現代美術ギャラリー  
料金：無料（展覧会入場料に含まれます）  
※参加ご希望の方はギャラリー入口にお集まりください。



\*みと文化交流プラザの駐車場は台数に限りがあるため、水戸芸術館地下の市営駐車場など周辺駐車場をご利用ください。

## 【展覧会関連 教育プログラム】

### ■ ウィークエンド・ギャラリートーク

市民ボランティア CAC ギャラリートーカーとともに展覧会を鑑賞します。

日 時：7月28日（日）～10月6日（日） 毎週土・日曜日 各日 14:30～（約40分）

※ただし8月10日（土）、24日（土）、9月14日（土）、15日（日）は除く。料金は展覧会入場料に含まれます。

### ■ 夏のこらぼ・らぼ

毎年夏に行っていた「こども・こらぼ・らぼ」を全世代対象の企画にリニューアル。夏・秋・冬の3つの季節に分けて、ワークショップや鑑賞プログラムを行います。夏のテーマは「絵本」。ワークショップや古本市を行います。

おはなしづくり：大谷峯子（おはなし作家）、本づくりのおはなしとワークショップ：矢萩多聞（画家・装丁家）、古本市：Little（甲府）ほか

日程：8月9日（金）、10日（土）

会場：現代美術ギャラリー内ワークショップ室ほか

対象・参加費：プログラムによって異なります

応募受付期間：7月15日（月）～19日（金）（応募者多数の場合は抽選）

※申込方法、プログラム等詳細はチラシ・ホームページをご覧ください。

※秋のこらぼ・らぼは9月14日（土）、15日（日）に開催予定。



「こども・こらぼ・らぼ2018」  
ワークショップの様子 撮影：山崎宏之

### ■ 視覚に障害がある人との鑑賞ツアー「セッション！」

全盲の白鳥建二さんをナビゲーターに、見える人と見えない人が一緒に展覧会を鑑賞するツアーです。

日時：9月14日（土）、15日（日） 各日 14:00～16:00

対象：一般

定員：各日10名（要電話申込・先着順）

参加費：1,000円（展覧会入場料を含む）

申込み：水戸芸術館現代美術センター Tel.029-227-8120

※視覚に障害のある方はお申込みの際にお知らせください。

## 【同時開催】

### ■ クリテリオム96 村上華子

若手作家と当館学芸員が共同企画する展覧会シリーズ。96 回目は、写真の古典技法や活版印刷術など複製技術の起源に関心を寄せ、写真やテキストによる作品を制作する村上華子の個展を開催します。これまでも、20 世紀初頭のカラー写真技術に着想を得た〈ANTICAMERA (OF THE EYE) #P〉(2016 年) など、村上は技術と不可分にある「見ること」の構造を緻密な調査を通して解きほぐし、今日の視点からその可能性に焦点を当てた作品を発表してきました。本展では、村上が 2018 年に行なった、Getty・リサーチ・インスティテュートとジョージ・イストマン博物館（ともに米国）での黎明期写真の調査に基づく最近作を展示します。

会期：7 月 13 日（土）～ 10 月 6 日（日）

会場：現代美術ギャラリー第 9 室

主催：公益財団法人水戸市芸術振興財団

企画：後藤桜子（水戸芸術館現代美術センター学芸員）

※クリテリオムは、ラテン語で「基準」を意味し、若手作家の新作を中心に紹介する企画展です。

※料金は展覧会入場料に含まれます。



〈Untitled(ROC18.9.27, I/S)〉 2018年  
Courtesy of Taka Ishii Gallery

### ■ 日比野克彦「HIBINO CUP」

アートとスポーツが一緒に楽しめる恒例のワークショップ。午前はチームごとに段ボールなどでゴールとボールを創作し、Tシャツに絵柄を描いてユニフォームをつくります。午後にはそれらを用いてオリジナルのミニサッカーをして競い合うイベントです。親子や友人同士でお楽しみいただけます。

日時：7 月 27 日（土） 10：00～17：00

※雨天の場合はプログラムを変更して同日開催

会場：広場

対象：小学生以上

定員：16 チーム（先着順）

参加費：個人 500 円、グループ（5～7 名まで）2,000 円

※個人参加の方はこちらでチームを編成します。

※8 名以上で参加ご希望の場合は、一人あたり 200 円を追加いただきます。

申込方法：「HIBINO CUP」とタイトルをつけ、①チーム名、

②プレイヤー人数、③代表者の電話番号を、

atmcac@arttowermito.or.jp までお送りください。

※受付開始 6 月 1 日（土）

主催：HIBINO CUP 実行委員会、公益財団法人水戸市芸術振興財団

特別協力：水戸 21 の会

協力：レンゴー株式会社、サントリーホールディングス株式会社、

F C 水戸ホーリーホック、

株式会社茨城ロボッツ・スポーツエンターテインメント、

公益社団法人水戸青年会議所、水戸商工会議所青年部



「HIBINO CUP」の様子

【図 版】 展覧会広報用にデータを貸し出しますので、ご要望の方は鳥居までお問合せください。

1



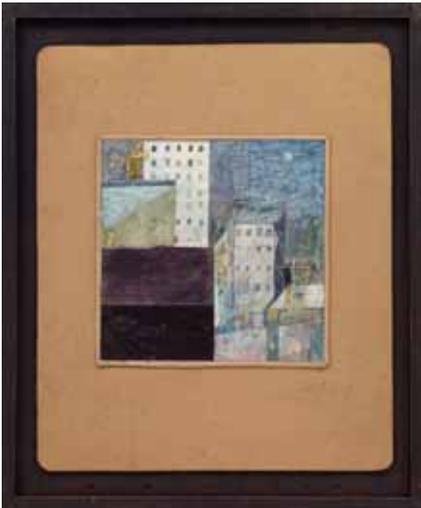
2



3



4



5



6



1. 《放棄地帯》2019年
2. 《Bldg.》1984年
3. 《白壁のビル2》2017年
4. 《Tokyo V》1984年
5. 《浮遊するビルの大きな肖像》2002年 広島市現代美術館蔵
6. 《車窓》2000 - 2001年 高松市美術館蔵

上記すべて © Shinro Ohtake, Courtesy of Take Ninagawa, Tokyo, Photo by Kei Okano

## プレス向け内覧会のお知らせ

2019年7月12日(金) 15:00～16:00 受付開始 14:30

場所：水戸芸術館エントランスホール内応接室+展覧会会場

出席者：大竹伸朗(出品作家)、井関悠(水戸芸術館現代美術センター学芸員)

### 【お問合せ】

水戸芸術館現代美術センター

〒310-0063 茨城県水戸市五軒町1-6-8 Tel.029-227-8120/Fax.029-227-8130 <https://www.arttowermito.or.jp/>

展覧会について：井関悠(学芸員)

教育プログラムについて：森山純子、佐藤麻衣子(教育プログラムコーディネーター)

広報・写真貸出について：鳥居加織(広報) e-mail:cacpr@arttowermito.or.jp

\*詳細は公式ツイッター [http://twitter.com/MITOGEL\\_Gallery](http://twitter.com/MITOGEL_Gallery) でも配信いたします。

### 【記事掲載についてのお願い】

- 1) 掲載にあたっては、正式展覧会名称と会期の表記をおこなってください。
- 2) 写真を掲載する場合は、写真に添付してあるキャプション・クレジット等を正確に表記してください。
- 3) 誌面掲載する電話番号は、水戸芸術館代表番号029-227-8111でお願いいたします。
- 4) 掲載記事とVTRは、資料として保管いたしますので水戸芸術館現代美術センター鳥居までご送付ください。
- 5) 取材及び収録等の取材は、必ず事前にお問い合わせください。都合により取材に応じることのできない場合がございます。

### 【交通のご案内】

[JR] 上野駅(品川、東京発もあり)から常磐線特急で約65分～85分、水戸駅下車。駅北口バスターミナル4～7番のりばから「泉町一丁目」下車。降車後バスの進行方向に進み、すぐの交差点で大通り(国道50号)を渡り、横断歩道と平行する脇道をそのままお進みください。徒歩2分。  
◎料金：特急片道3,820円／普通各停片道2,270円(2019年5月現在)  
※ご予約・時刻表など詳しくはこちらをご参照ください。JR東日本旅客鉄道 Tel.029-221-2836  
<http://www.jreast.co.jp/>

[高速バス] 東京駅八重洲南口バスターミナルのりばから高速バス「みと号」(赤塚又は茨大ルート)で約100分、「泉町一丁目」下車、徒歩2分。切符は東京駅八重洲南口バス券売機、水戸駅北口バスチケット売場でお求めください。  
◎料金：東京駅-水戸駅片道切符2,080円。ツインチケット(2枚綴り回数乗車券3,900円)。(2019年5月現在)  
※詳しくはこちらをご参照ください。茨城交通 Tel.029-251-2331 <http://www.ibako.co.jp/>

[お車] 常磐自動車道水戸ICから国道50号に下りて市街地方面にお進みください。約20分、国道349号との交差点「南町3丁目」で左折(左手にみずほ銀行がございます。)、2つ目の信号でまた左折をしてください。そこから信号ひとつ過ぎたところで水戸芸術館地下の市営五軒町駐車場のマークが見えてまいります。  
◎駐車場料金：30分まで無料、1時間まで200円、以降30分毎100円／営業時間：7:00～23:00  
※高速料金・ルートなど詳しくはこちらをご参照ください。  
東日本高速道路「ドラぷら」 Tel.0570-024-024 <http://www.driveplaza.com/>